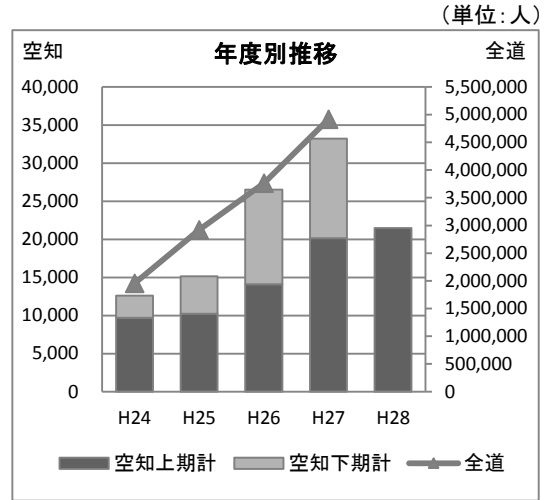


平成28年度上期空知管内における訪日外国人宿泊者数調査結果の概要

平成28年 12月26日
空知総合振興局商工労働観光課

1. 概要

平成28年度上期の訪日外国人宿泊者数(実数)は、21,485人となり、平成27年度上期の20,165人から、1,320人(6.5%)の増加となった。



(単位:人)

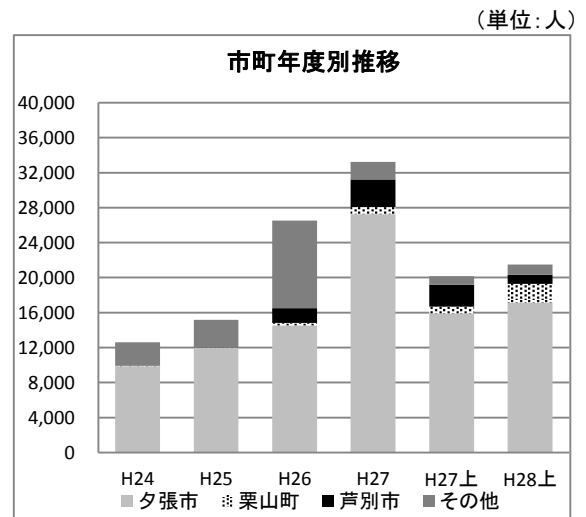
年度	H24	H25	H26	H27	H28	対前年度増減
空知管内計	12,600	15,163	26,505	33,233		
上期計	9,687	10,240	14,116	20,165	21,485	1,320
下期計	2,913	4,923	12,389	13,068		
全道シェア	0.64%	0.52%	0.70%	0.68%		
全道計	1,953,628	2,920,129	3,765,760	4,916,573		

※H28上期全道分は集計中

2. 市町別

管内24市町で外国人が宿泊した市町は、夕張市、岩見沢市、美瑛市、芦別市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、南幌町、由仁町、栗山町、月形町、新十津川町、雨竜町、沼田町の9市7町、計16市町となっている。

また、夕張市が全体の79.7%と、管内外国人宿泊者の大半を占めている。



(単位:人)

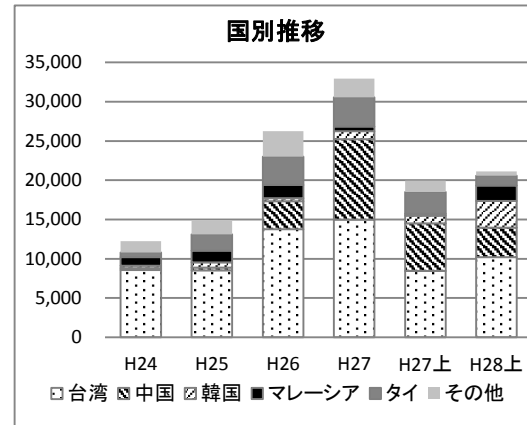
区分	H24	H25	H26	H27	H27上期	H28上期
管内計	12,600	15,163	26,505	33,233	20,165	21,485
上位3市町						
夕張市	12,014	14,551	23,967	27,247	15,864	17,127
栗山町	29	11	268	822	803	2,154
芦別市	23	9	1,704	3,175	2,505	1,045

3. 国別

国別で見ると、台湾が10,211人と最も多く、全体の47.5%と大部分を占めている。次いで中国が3,754人、韓国3,385人、マレーシア1,952人、タイ1,280人となっており、特に韓国とマレーシアは、前年同期よりも大幅に増加した。

地域別では、アジア地域が全体の98.2%と管内外国人宿泊者のほとんどを占めている。

(単位:人)



(単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H27上	H28上	構成比
台湾	8,540	8,510	13,771	14,957	8,452	10,211	47.5%
中国	253	372	3,564	10,268	6,048	3,754	17.5%
韓国	332	665	363	1,030	972	3,385	15.8%
マレーシア	1,082	1,469	1,695	590	246	1,952	9.1%
タイ	580	2,078	3,589	3,695	2,777	1,280	6.0%
上記以外のアジア	1,459	1,782	3,266	2,381	1,467	524	2.4%
アジア計	12,246	14,876	26,248	32,921	19,962	21,106	98.2%
北米	29	42	50	49	37	98	1.8%
欧州	141	17	27	42	33	47	
オーストラリア	8	25	6	45	10	16	
その他	176	203	174	176	123	218	
空知管内計	12,600	15,163	26,505	33,233	20,165	21,485	

4. 月別

平成28年度の管内宿泊施設を利用する外国人観光客は7月、8月の2ヶ月間で12,610人と、全体の58.7%を占めている。

(単位:人)

